イの空欄には伊藤博文があてはまる。伊藤博文は明治時代に活躍した政治家。1885年，内閣制度の確立とともに，日本で最初の内閣総理大臣に就任した。内閣総理大臣在任は，1885～88年，1892～96年，1898年1月～6月，1900～01年。ウの空欄には徳川家光があてはまる。徳川家光は江戸幕府3代将軍(在職1623～51年)である。エの空欄には織田信長があてはまる。織田信長が安土の城下町で商人の自由な営業を許した(楽市・楽座令の発布)は1577年。

(2)　足利義満が活躍していた時代は，身分の明確な区別がなく，農民と兵士(武士)の境界はあいまいであった。しかし，豊臣秀吉が行った刀狩，太閤検地などの政策によって兵農分離が進められ，徳川家光の時代には士農工商を中心とした身分制度が確立，農民が兵士(武士)になることはなくなった。ところが，明治時代に入ると，政府は国民皆兵を原則とする政策を採用し，1873年には徴兵令を発布。原則として20歳以上の男子に兵役の義務が定められた。

★ワンポイントアドバイス★

【5】などは，選択肢の組み合わせが複雑になっている。慎重に選択肢を吟味しないと，失敗する可能性が高い。ていねいに取り組むことが大切である。

＜実技解答＞ 《学校からの正答の発表はありません。》

音　楽

【1】～【4】 放送による聞き取り問題につき省略。

図画工作

【1】 エ　　【2】　省略

家　庭

【1】 (1)　オ　　(2)　ウ　　【2】 エ，採光　　【3】 賞味

＜国語解答＞ 《学校からの正答の発表はありません。》

【一】 放送問題につき省略

【二】 (1)　ウ　　(2)　エ　　(3)　イ　　(4)　エ　　(5)　ウ　　(6)　ア　　(7)　ア
(8)　ア　　(9)　A　気配　　B　看板

【三】 (1)　a　オ　　b　イ　　(2)　死亡の原因になり，大流行のおそれがある　　(3)　ア
(4)　Ⅰ　恐ろしい病気　　Ⅱ　病気としてさえ捉えられていなかった　　(5)　エ
(6)　ウ

＜国語解説＞

【一】 放送問題につき省略。

【二】（物語―心情・情景，細部の読み取り，漢字の書き取り）

(1) 「使えんな。……」という意地悪な言い方をしたのに，タオは，意味がわからないといった顔で首をかしげたのだ。これまでの孝俊の行動を見てもタオに対して無理な行動を強要したりしている。しかし，タオは動じることなく淡々と対応していたので，孝俊のいらいらが高じてきているのだ。イやエのように「仲間にしよう」というような思いはない。ただ東京から来た「よそ者」に「いやな思い」をさせてやるという気持ちなのだ。それなのにタオが平然としているから「イラついた」のである。

(2) ――線部を映像で考えてみると，スローモーション映像のように一つ一つがゆっくりのように感じられるということになる。しかし，実際起こっていることは命に関わるできごとだ。このように重大事にでくわした心情が一つ一つの場面が目に焼き付くように受け止めているのだからエである。

重要 (3) イとウで迷うところである。この課題文中では，以降タオが登場しないからだ。また，「笑ったのだと思う」は，謝りに来ている「おれ」の立場での印象でもあるからだ。しかし，「タオんちのおじさんも～仕方ないよな」は事実であるので，隣にいるタオも謝罪を受け入れたと読み取りイを選ぶ。

基本 (4) 「へどもど」とは，どうしていいかわからなくてまごついたり返事につかえてしまうさまをいう言葉である。アの「いごこちが悪い」とエの「どうしたらよいかわからない」がその言葉に合うニュアンスだが，おじさんは自分たちを誤解しているのではない。おじさんは自分たちがおじさんの息子にしたことをきちんと理解している。本当なら強く叱られて当然のことをしたにもかかわらず「また遊んでやって」という予想もしなかった言葉を自分たちにかけたので「へどもど」してしまったのだ。

(5) 孝俊がしつこくタオに飛び込みをすすめている間ずっと保生とおれは止めている。「わかっている」ことは「危険だ」ということであり，アのように「父親に殴られる」や「おぼれて気絶する」といった，結果的に起きたことを事前に予想したものではない。「そもそも危険なことだ」と「わかっている」だろうということだ。

やや難 (6) アとイで迷うところである。「保生はここの神様～ばかにしてる。」に対して保生は「してない！……」の部分を読むと，イの内容で悲しく感じているとも読める。しかし，孝俊が帰ってしまった後の会話で「おれはただ，みんなと仲良くしたいだけ。～天徳のことなんて正直興味ないよー……」と本音を話している。この視点で三人のけんかの始まりを確認すると，「～ちゃんとタオに謝るまでおれは許さん……」から始まっていることがわかる。保生の変わらない姿勢は「誰とでも仲良くしたい」ということだ。タオが内地人でないからというだけの理由でいじめたり仲間はずれにする孝俊の考えは自分では納得できないことなのに，そこがわかってもらえないことに悲しさを感じているのだからアである。

(7) (6)で考えたように，保生は「正直興味ない」天徳の問題点である。しかし，そういう問題点があるから，この場合はタオ，広く言えば他の土地から来た人をのけ者にするなら問題点を解決しなければというのが「誰とでも仲良くしたい」保生の考えだ。天徳にただいるだけで，何となくそのしきたりに従っている自分とは違い，必要ならなんとかしなければと考えているらしい保生の発言に「心を打たれた」のである。

やや難 (8) アとウで迷うところである。「おれだけだ。……」で始まる段落からアの「外の世界へ強い憧れをもっている」と，イの「後ろめたさを感じている」はどちらも読み取ることができる。した

がって，選択肢の前半で考える必要がある。ウの「子分のように扱われる」は，「タオの家からの帰り道……」で始まる段落に，これまで孝俊が「おれと保生を子分のように扱っていた」とあるが，「おれたちも自然と受け入れる態勢になっていた」とあるので「不満をもっている」とはいえない。一方「自分の思いを率直に～ためらいがある」に関しては，確かに，まったく意見を言わないわけではないが，「加勢した」や「……保生に賛成」と控えめにしか言わない点，孝俊が帰ったあとに言っている保生に対するほめことばも「どっちもすごい」と考えを述べ合う二人に尊敬の念を表していると読み取り，アを選択する。

基本 (9) A 「配」は全10画の漢字。5画目はまげる。 B 「看」は全9画の漢字。1画目は左へはらう。横棒一本のように見えないように書こう。また，「日」ではなく「目」であるので注意する。

【三】（説明一細部の読み取り，指示語，接続語，空欄補充）

重要 (1) a 前部分は，病気の捉え方は個人だけでなく社会によって違う場合があるということを示している。後部分は，マラリアという熱病の場合を例に挙げて前部分を説明しているので「たとえば」である。 b 前部分は，マラリアは，インフルエンザと同じように治すことのできない難病ではないと説明している。後部分は，難病ではないといっても筆者はマラリアのほうが恐い病気のように感じると心情を述べているので「しかし」である。

(2) 掲出文の，［　　］の後が「～という二つの理由から『恐い』」となっていることに注意する。インフルエンザが恐いと思う人の理由を述べている段落は3と4段落である。これらの段落か「怖さ」とできるのは，まず「死亡の原因」となることが挙げられる。また，「大流行する恐れ」が挙げられる。

(3) 「この病気が蚊によって媒介されることを人々が知っていたかどうかはわかりませんが」とあるのでイは誤り。12段落冒頭の「同じように」は，「悪い空気」を指しているのではないのでウは誤りだ。「同じように」は「同じように恐い病気と捉えた人々」である。「水田」をどこに作るかを工夫したのではないのでエは誤りである。水田はどうしても水が必要だから川の近くにある。蚊が媒介すると知っていたかどうかは不明だが，川の近くだと「病気にかかりやすくなる」と経験上知っていたのだ。だから，水田に行くのに不便でも，「流行させないように，川から離れたところに住む」ことにしたのである。

(4) 「病気の捉え方は個人でも社会によっても違う」の中の「社会」の部分を書くことを求めた掲出文である。事実上，――線③の冒頭の「このように」が指し示す内容を問う問題といえる。「違い」を明確にするのだから，まず，11段落にある「恐ろしい病気」と捉えている「社会」がある一方，13段落では，「病気としてさえ捉えられていなかった」「社会」の違いである。

重要 (5) ア 「病院での検査結果に基づく……」が誤りである。 イ 前半は適しているが，後半の「子どもに共通する病気のあり方」を述べているわけではない。 ウ 内容は全くの誤りである。 エ 17段落で説明している「疾病」と「病い」の捉え方から考える。それをふまえて19段落の内容からエを選択する。

(6) 「適当でないもの」という条件に注意する。 ア 2段落の問いかけ文は，「恐い」と思う人，思わない人の違いをこれから説明するためのものだから適当である。 イ 10段落の最終に，自分自身はマラリアが恐いという「自らの見方」を示していて，11段落では，それを受けて「恐い」と思う社会の紹介をしているので適している。 ウ 17段落では，文化人類学での見方を紹介しているので「新たな観点」は正しいが，「医学的な病気の捉え方」に限った見方をするのは文化人類学ではないので不適切である。 エ 「小さな親切，大きなお世話」という慣用表現を使って，「病気や障がいへの向き合い方」をのべているので適している。

★ワンポイントアドバイス★

変則的な時間であることを念頭に，てきぱきと解答していく力が必要だ。